

## 東日本大震災 KCCJ 対策委員会 第3回四者協議

日時：2011年7月14日（木）13時30分～16時  
場所：インターボード会議室（日本キリスト教会館5F）

司会：洪性完総幹事

### 1. 礼拝

祈祷：

聖書：エレミヤ예레미야書9章24節

「むしろ、誇る者は、この事を誇るがよい目覚めてわたしを知ることを。わたしこそ主。この地に慈しみと正義と恵みの業を行う事その事をわたしは喜ぶ、と主は言われる。자랑하는 자는 이것으로 자랑할지니 곧 명철하여 나를 아는 것과 나 여호와와는 사랑과 정의와 공의를 땅에 행하는 자인 줄 깨닫는 것이라 나는 이 일을 기뻐하노라 여호와와의 말씀이니라」

### 2. 出席確認

出席：総会・関東地方会・全国教会女性会連合会・青年会全国協議会  
陪席：

### 3. 前回会議録の確認

2P～参照

### 4. 活動報告

1) 総会 5P～

(1) 募金集計・活動

(2) 被災地ボランティア活動 6P～

2) 関東地方会 8P～

3) 青年会全国協議会

4) 全国教会女性連合会

### 5. 案件討議

1) 募金の管理及び総会監査の件

募金の集計及び管理を総会事務局にて行っています故、総会監査に備えて総会事務局まで各担当部署は、支出に伴った領収証などを揃えて報告していただかなければならない。

2) 募金集計報告に伴う配分について

募金集計報告の中に提案してある。

3) 今後の活動計画に伴う方向性について

## 前回録の確認

### 東日本大震災対策四者協議第二回会議録

2011年6月7日 13時30分～16時55分  
場所：インターボード会議室（日本キリスト教会館 5F）  
司会：洪性完総幹事

#### 1. 礼拝

祈祷：金必順牧師  
聖書朗読：  
一同黙祷

#### 2. 出席確認

出席：朱文洪 洪性完 韓聖炫 金健 黄貞順 張慶泰 許伯基 金貞姫 金必順 金貞子 金耿昊

許牧師が関東地方社会部長の資格で出席し、陪席ではなくなった。前回は総会幹事の立場で陪席をしており、職務上の書記とされていたが、この場で正式に四者協議会の書記とされることが承認された。

#### 3. 前会議録確認

p7の中段「金東洙牧師より...NCCJなどの外部団体への支援金 10%」を「30%」「被災支援ボランティア活動の予算 10%」を「15%」と訂正した後、議事録が承認された。

#### 4. 活動報告

##### 1) 総会・社会委員会

別紙資料にしたがって、許伯基牧師より被災地ボランティアについて報告があった。いわきボランティアチームの報告書が配布されなかった点について謝罪がなされた。ボランティア活動は仙台チーム（許伯基牧師）といわきチーム（韓在文牧師）に分かれて、同じ日程で行われている。現在、第3次までが無事終了した。品川教会が主催した炊き出しについて報告がなされた。炊き出しチームの交通費補助と、志津川中学校避難所にタオルケット、飲料、缶詰などの物資支援が、ボランティア予算から支出されたことが報告された。

##### 2) 青年会全国協議会

アジェンダの「青年会全国連合会」が「青年会全国協議会」へ修正された。別紙資料にしたがって、金耿昊代表が報告した。

##### 3) 関東地方会

別紙資料にしたがって、韓聖炫牧師が報告した。品川教会の炊き出しに、果物代を支給した。山形ウリ教会が、4回にわたって、教会独自に炊き出しを行った。5月24日より日本基督教団の各教区（東北、奥羽、関東、東京、西東京）総会にて、宣教協力部長の金柄鎬牧師が、イエス教長老会統合の「被災地牧師休養プログラム（釜山）」を紹介し、招待していた。関東地方会からは郡山、日立、仙台が参加予定。6月22～23日に北上シオン伝道所、三沢教会の牧師委任式が行われるが、その際に被災地を訪問、教団大船渡教会、気仙沼教会、新生釜石教会を慰問予定。11月に教団奥羽教区、東北教区と東北地方で宣教協力協議会を持つ予定。各教会の被害報告を、黄貞順牧師が別紙資料にしたがって行った。

許牧師：第一回目の支援金の金額を等分で行ったことについて、被害の大きかった教会の牧師から不満が出ている。  
黄貞順牧師：それについてはすでに認識しており、第一回目の支援金は慰労金的な性格のものだったので。これ以降の配分方法については、各教会ごとの事情を考慮する予定。

##### 3) 全国教会女性連合会

金貞姫会長より、ボランティア、炊き出しの実働部隊となる関東地方女性会の代表を加えてくれるように要請があった。  
金必順牧師より報告がなされた。韓国での女性指導者研修、カナダでのWMS集会に参加した経緯から、

震災に対する対応が遅れた。韓国の各教団、女性連合会より、日本円にして27万円の献金があった。「復活の祈り献金」と題した震災のための献金の現在額が1,586,400。このお金を用いて、セツンですで行われている「心のケア」電話相談を活用して、被災地の人々の心のケアに取り組むことを考えている。金貞子社会局長より報告がなされた。献金を各教会へお見舞い金として支給することを考えている。またボランティア活動（炊き出しを考慮中）経費としての支出、そして必要な教会への線量計の支給を考えている。

#### 5. 案件討議

##### 1) 今後の活動計画に伴う方向性について

被災地ボランティアに関して、外部からの参加者が中心になっており、在日大韓基督教会内部からの参加者が非常に少ないことが、許伯基牧師から報告された。

金貞姫：東京教会は、別個に動いている。一緒に行動できない理由があったのだろうか？ 日程が合わない性だろうか？ 正規のルートを通じてボランティアに参加するべきではないか？

金必順牧師：全国女性会も被災地支援に乗り出したいが、全国女性会に参加している教会が東京以北にないことが、会員たちの参加に対する意識を薄めている。また、現在組まれている被災地支援は、力仕事を中心で、平均年齢が60歳を越える女性会員たちの参加は難しいのが実情である。どのような作業内容があるのか、前もって分かれば、もっと参加しやすくなる。

◆次の事項が確認された。被災支援ボランティアに関しては、社会委員長である朱文洪牧師が責任者となり、関東地方者会部長である許牧師が実務・現場責任者となる。各教会は個別にボランティアの予定を組むことを避け、出来るだけ総会のボランティアと連携を取り、すでに結ばれている正規のルートと活動現場、宿泊場所を利用する形をとる。

##### 2) 募金の活用について

アジェンダ中の募金額一覧にしたがって、総幹事が説明した。現在の募金額は約1200万円、すでに支出したものを差し引いた現在使える額は650万円ほどでしかない。外部団体への支援金送付先の一つとしてNCCを予定していたが、しなくてもよいことが確認された。よってその分をアジア学院に振り返る方向で考えている。

金必順牧師より、会計報告がおおざっぱすぎる、収入、支出の内訳を明記して欲しい、との指摘があった。

許伯基牧師より、欧米教会より募金された金額が表記されていない点が指摘され、その金額について質問があった。

洪性完総幹事：総会長の指示により、欧米教会支援金は別枠にしており、その金額は329万円ほどである。この支援金は、後ほどきちんとした報告書を提出する義務があるため、特別枠にして、特に被害のひどい教会に別に支給する、というようなことも考えている。

この後も、この件について繰り返し指摘が集中した。その内容は、支援金の一部を4者協議会の許可無しに別に取り置きしていることについてであった。洪総幹事は、それは関東地方会の支援金の分配方法（一律）を開いた総会長の指示によるものであったこと、また、取り置きしている支援金に関しても、最終的には4者協議会において用途が決定されることを回答した。

張慶泰牧師より、支援金全体の管理を誰が行っているのかについて質問があった。

洪性完牧師が、総会大震災対策委員会の責任者は総会長であり、実務責任者は総幹事である。その総幹事が管理を行っている、という回答があった。

張慶泰牧師：募金額が増え続ける中で、どの時点での総額で配分のパーセンテージを出すのか？ ある程度金額が確定した上で配分するのはどうか？

許伯基牧師：例えば、本日付の総額をもって、前回決められたパーセンテージにしたがって金額を配分してはどうか？

洪性完総幹事より、募金の収支報告に計上されている交通・諸経費についての説明があった。海外韓人教会(KPC)総会への参加(募金2万ドルをもらった)、震災直後に総幹事が仙台入りした時の経費、4者協議会の交通費などが計上されている。

許牧師より「3つの用途のパーセンテージから各2%を取り、4者協議会および募金に関する事務費としたらどうか?」という提案があった。

張牧師より、募金活動や協議会の経費をパーセンテージで決めるのはおかしい。いくら募金額が増えようが、事務手続きや会議にかかる費用はそれほど変わらない、という意見があった。

◆洪総幹事より、全体の金額から支出された経費分を差し引いて、それについての会計報告は4者協議会の場できちんと行い、のこりをパーセンテージによって配分する方法が提案された。諸経費の支出方法に関して、この方法が承認された。

◆この日の支援金総額を基準にして、すでに決められているパーセンテージにしたがって、3つの用途に金額を分配し、それぞれが資金管理をすることが承認された。

◆今回の被災教会支援に関して、次のような方針が承認された。

1. 震災にかかわらず、元々教会の財政が困難である部分に対する支援は考慮に入れないこと。(長期的な家賃補助など)
2. 教会堂の破損等により教会を移し、移転先の建物を購入した場合は、その移転費用については支援範囲に入る。しかし新規に建物を購入に関する募金は、震災対策としてではなく、会堂建築献金として別途行うこと。
3. 支援金は教会自体に対して支給されるものであり、その教会に所属する信徒たちの見舞金、支援金までは考慮に入れないこと。
4. 被災教会に対して、追加の書類提出を要請する。その内容は「総会からの支援以外に、どのような支援をこれまで受け取ったか?」に対する調査である。この調査票に作成に関して、張慶泰牧師と許伯基牧師が担当者として当たる。

3) その他

第3回4者協議会の日程について、7月14日午後1時30分より、インターボード会議室にて行うことを承認した。

5. 閉会祈祷

韓聖炫牧師が祈祷した。

I。総会報告									
1. 東日本大震災募金集計(2011.7.11現在)報告									
総会					韓国				
1	札幌教会	182,203	51	大阪第一教会	59,300				
2	三沢教会		52	大阪平康教会		合同		1,500,000	
3	北上シオン		53	布施教会	200,000	大神		200,000	
4	新潟教会		54	巽教会		基長		1,000,000	
5	仙台教会		55	大阪教会	500,000				
6	山形刈教会	65,500	56	大阪築港教会		希望奉仕団		1,000,000	
7	郡山伝道所		57	日本サラン伝道所		崔栄信母教会		1,000,000	
8	水戸伝道所		58	大阪南部教会		ニューライフチャーチ		16,204	
9	つくば東京教会	78,000	59	浪速教会	51,359	アヒョン監理教会		662,500	
10	日立教会		60	大阪西成教会	300,000				
11	大宮教会	8,300	61	豊中第一復興教会	28,312	韓国合計		5,378,704	
12	千葉教会		62	高槻伝道所					
13	船橋教会	59,100	63	永和教会					
14	西新井教会	179,230	64	枚岡教会	37,000	その他海外		\$	
15	東京教会	500,000	65	平野教会	57,000	LA 永楽	2,471,332	30,000	
16	東京緑洲伝道所		66	堺教会	95,020	UMC	828,600	10,000	
17	品川教会	66,000	67	春木伝道所		UCC Canada	406,850	5,000	Canada \$
18	東京東部伝道所		68	南港伝道所		RCA	3,168,400	40,000	
19	東京第一教会	59,000	69	関空伝道所		KPCA	1,591,000	20,000	
20	東京中央教会		70	高槻伝道所	53,000	テンプル第一教会	79,550	1,000	
21	東京希望キリスト教会	150,000	71	和歌山第一教会	417,405				
22	黎明教会	12,000		関西地方会	70,900	海外合計	8,545,732	105,000	
23	ハンサラン教会			布施・奈良合同礼拝	89,200				
24	東京調布教会			関西合計	2,664,352				
25	東京蒲田教会	25,500	72	武庫川教会	139,700				
26	東京綾瀬教会	17,000	73	西宮教会	288,000	募金合計	20,751,160		
27	東京聖山キリスト教会		74	川西教会	10,000				
28	川崎教会	162,300	75	宝塚伝道所					
29	横浜教会	263,000	76	神戸教会	345,500	支出			
30	横須賀教会		77	神戸東部教会					
31	甲府刈教会	39,000	78	姫路教会		関東地方会	5,900,000		
	関東合計	1,866,133	79	姫路薬水教会	20,000	支援ボランティア	1,609,090		
32	長野教会	37,000	80	明石教会	12,139	対外支援	4,000,000		教区及び諸団体へ
33	浜松教会		81	水島教会	30,000	総会長総幹事募金経費	417,066		海外出張経費
34	豊橋教会	101,500	82	岡山教会	68,000	対策委員会	165,918		交通経費
35	岡崎教会		83	新居浜グレース教会	212,500	銀行支払手数料	26,100		
36	豊田めぐみ伝道所		84	広島教会					
37	名古屋教会	610,000	85	三次教会	15,000	支出合計	12,118,174		
38	名古屋南教会	27,000	86	福山伝道所					
39	愛隣伝道所			西部合計	1,140,839				
40	一宮伝道所		87	宇部教会					
41	岐阜教会	49,600	88	下関教会					
42	大垣教会		89	小倉教会	109,300				
43	四日市伝道所		90	折尾教会					
	中部合計	825,100	91	福岡教会	30,000	現在残額	8,632,986		
44	新儀教会	20,000	92	福岡中央教会	80,000				
45	京都教会	549,756	93	博多伝道所	64,000	残りの配分予定(提案)			
46	京都南部教会	92,100	94	熊本教会		関東	4,000,000		
47	京都東山伝道所	44,000	95	別府伝道所	42,000	支援ボランティア	1,000,000		
48	奈良教会		96	沖縄教会		対外支援	2,000,000		
49	大阪北部教会			西南合計	325,300				
50	今福教会			その他	5,000	配分後残額	1,632,986		
				総会合計	6,826,724				

## 2. 被災地ボランティア活動報告

### ・ボランティア第3次報告

日時 :2011年5月30日(月)~6月4日(土)

場所 : 宮城県東松島市東名

参加者 : 許伯基(在日大韓基督教会幹事) 全日参加 朱文洪(在日大韓基督教会 社会委員長 / 小倉教会) 全日参加 染森義孝(日本基督教団若松教会) 全日参加

5月30日(月)日暮里駅を12時15分に出発し、東北道経由で仙台北教会に到着(17時30分)七ヶ浜ジレットハウスの鍵を受け取り、七ヶ浜へ。ジレットハウスに宿泊

5月31日(火)10時15分に東松島市東名の現場(紺野さんの理髪店前)に到着。日本キリスト改革派東仙台教会のボランティアチームに合流。10時30分作業開始。改革派教会信徒有志、Crash Japan、日本国際飢餓対策機構と共に、オリエンテーションの後、祈りを持って作業を開始。終日、木村さん宅にて床上の泥の除去とがれきの片付け。木村さん宅は震災から3ヶ月近く経ったこの時点まで、ほぼ手つかずの状態であった。15時30分作業終了。夕方、朱文洪牧師がイエス教長老会(大神)被災地視察団の訪問を受け、支援金20万円(東日本大震災対策委員会へ)を受け取る。

6月1日(水)10時15分、前日と同じ現場に集合。改革派東仙台教会、改革派教会牧師有志、Crash Japan、日本国際飢餓対策機構と共に、オリエンテーションの後、祈りを持って作業を開始。終日、ヘドロで埋まった側溝のかき出し、清掃。15時30分作業終了。許伯基のみ午後8時半より10時まで、東北ヘルプ事務局長の川上直哉さんと打ち合わせ(NCCJと東北ヘルプの関係について)

6月2日(木)10時15分、前日と同じ現場に集合。改革派東仙台教会、Crash Japanとともに、祈りを持って作業を開始。午前、香味さん宅で、すでに泥がかき出された床下に石灰の散布、および庭の清掃。午後は塩田さん宅にて、床板はがし。15時30分作業終了。許伯基のみ、仙台キリスト教連合世話会に出席、傍聴。(内容:義援金の分配について、また仙台キリスト教連合と東北ヘルプの分離について、など)

6月3日(金)10時30分、前日と同じ現場に集合。改革派東仙台教会、改革派教会牧師有志、日本国際飢餓対策機構とともに作業開始。終日、塩田さん宅の床板の撤去。作業終了15時30分。作業後、翌日の志津川中学校避難所に提供予定の物資の仕入れ。また仙台教会の徐東一牧師を訪問、夕食を共にする。夕食後、翌日に避難所に提供する支援物資の買い出しを行う。

6月4日(土)9時30分に七ヶ浜ジレットハウスを出発、支援物資を買い足しながら、品川教会の炊き出しチームと合流するため、南三陸町に向かう。南三陸町志津川高校に12時到着。炊き出しチームを激励、写真撮影の後、昼食を取る。支援物資(タオルケット、炭酸飲料、果汁飲料、缶詰、鮭フレーク、各約80)を志津川中学校避難所に届ける。南三陸町にて被災地域の写真撮影の後、14時出発、20時30分、東京到着、解散。

### ・ボランティア第4次報告

日時 : 2011年6月20日(月)~6月25日(土)

場所 : 宮城県東松島市東名

参加者 :

許伯基(在日大韓基督教会幹事) 全日参加

長田真一(在日大韓基督教会 名古屋教会) 全日参加

Antonio DiJesu(日本ユダヤ教団ラビ) 全日参加

6月20日(月)

日暮里駅を11時15分に出発し、東北道経由で七ヶ浜ジレットハウス着(16時30分)。今回の鍵の受け取りは、七ヶ浜の仮設ガソリンスタンド斉藤商店にて行う。ホームセンターにて必要な工具を購入。

6月21日(火)

10時00分に東松島市東名の現場(紺野さんの理髪店前)に到着。日本キリスト改革派東仙台教会のボランティアチームに合流。オリエンテーションの後、祈りを持って作業を開始。10時30分作業開始。

改革派教会信徒有志、Crash Japan 経由で参加のドイツチーム、日本国際飢餓対策機構と共に、オリエンテーションの後、祈りを持って作業を開始。終日、塩田さんの宅にて、土壁はがし、室内の泥の水洗い、清掃など。15時30分作業終了。

6月22日(水)

10時15分、前日と同じ現場に集合。雨天のため、松本さん宅内で、改革派東仙台教会、改革派教会牧師・信徒有志、日本国際飢餓対策機構と共にオリエンテーションの後、祈りを持って作業を開始。終日、木村さん宅で、取り外されていない床板の下に潜り込んでの泥だしと、その補助作業。(長田は潜り込み、許とアントニオは外で補助作業)15時30分作業終了。許伯基は夜に東北ヘルプのスタッフとの会合。

6月23日(木)

10時15分、前日と同じ現場に集合。改革派東仙台教会、Crash Japanとともに、祈りを持って作業を開始。野蒜(のびる)に移動し、菅原さん宅にて終日、壁と断熱材の除去作業。15時30分作業終了。19時30分、長田、許の両名は東北ヘルプの定期会議に参加。午後10時、北上ベテル伝道所、三沢教会の委任式を終えた関東地方会の牧師・長老一行(11名)をジレットハウスに迎える。

6月24日(金)

10時15分、関東地方会の一行と共に、東松島市新東名の現場に向かう。改革派東仙台教会、Crash Japan、日本国際飢餓対策機構とともに、ミーティングおよび祈禱の後、作業開始。(祈禱:韓聖炫牧師)関東地方会一行は現場視察の後、帰途へ。終日、野蒜の菅原さん宅の壁面木材と、床板の撤去作業。作業終了15時。21時30分、長田執事は夜行バスで仙台駅東口より帰途へ。

6月25日(土)

ジレットハウスを清掃・整頓の後、11時00分に出発、14時、郡山市にて朴正根牧師と昼食。16時、郡山を出発、18時30分、つくば東京教会着。つくば東京教会青年会とRabbi Antonioとの交流の後、20時、つくばエクスプレスつくば駅にて、Rabbi Antonioを見送り(秋葉原までの交通費をボランティア経費で負担)

### ・ボランティア第5次報告

日時 : 2011年7月4日(月)~7月9日(土)

## II. 関東地方会報告

### 第4回 関東地方会 東日本大震災対策会議報告

日時：2011年6月16日 午前11時

場所：西新井教会

参加：関東地方会委員会（韓聖炫・金健、林栢生、張慶泰、黄貞順）、金東洙伝道部長、姜章植宣教協力部書記、許伯基社会部長

案件：被災地教会の支援金について

1. 支援金の配分の原則：命にかかわることを最優先に。  
優先順位を決める：①地震、放射能等の一次災害に該当する教会を優先する。  
②二次災害：教会員等
2. 宣教師の場合、所属教団からの支援の有無の確認：現状把握に依る公平な配分。
3. 客観的資料の必要（建物の見積書及び品物に関する資料など：金銭に換算した場合の算出）。
4. 現在受け取れる金額：2,994,348円

会計報告：引き継ぎ：前会計から160,651円

支出：6月4日の品川教会の炊き出しへの補助6万円

収入：総会から（6月には）合計320万円入金  
6月16日120万円、6月17日200万円

現残額 3,300,651円

### 第5回 関東地方会 東日本大震災対策会議報告

日時：2011年7月1日 午後1時

場所：西新井教会

参加：関東地方会委員会（韓聖炫・金健、林栢生、張慶泰、黄貞順）、金東洙伝道部長、金柄鎬宣教協力部長、許伯基社会部長（金根湜・陪席）

案件：支援金の支給の決定のために

郡山伝道所（引っ越しの見積書）、仙台教会から新たな報告あり。

すでに見積書の出ている山形と建物購入計画書を提出している四教会を支給対象と決定。

金額：郡山伝道所150万円の内、住宅のための75万円を先支給

（7月4日送金済み）（教会賃貸のための75万未支給）

仙台教会；100万円（7月5日送金済み）

山形ウリ教会；50万円（7月4日送金済み）

水戸伝道所；30万円（7月4日送金済み）

現残額：750,651円

## III. 青年会全国協議会報告

#### IV. 全国教会女性連合会報告